



2019年11月5日

日本鉄道労働組合連合会

台風 19 号災害「連合救済ボランティア」

1 日 も 早 い 復 旧 ・ 復 興 め ざ し 連 合 ボ ラ ン テ ィ ア に 参 画

連合は、9月の台風15号に続き、10月12日に首都圏を直撃し、関東・東北エリアに広範な災害をもたらした台風19号の被害の甚大さに鑑み、「2019 台風19号対策本部」を設置した。10月28日には、福島への連合救援ボランティア派遣にあたり、構成組織の担当者への説明会を実施した。

今次救済ボランティアは、行き先を福島県伊達市・郡山市とし、各20人ずつ5陣に分け、11月末まで展開される。

J R 連 合 か ら は、第 2 陣 と し て、J R 連 合 より 今 井 孝 治 企 画 部 長、J R 西 労 組 より 新 幹 線 協 議 会 の 高 橋 良 樹 事 務 局 長 が 11 月 4 日 に



連合本部での出発式終了後、伊達市にむけて出発した。翌5日から、ボランティア作業に従事し、家屋の泥出し、ゴミ出し、家屋内の片付けなどに連合の仲間とともに汗を流し、積極的に連合救援ボランティアを担っている。

J R 連 合 は、引 き 続 き 連 合 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 に 参 画 す る と と も に、被 災 さ れ た 地 域 の 1 日 で も 早 い 復 旧 ・ 復 興 の た め に、積 極 的 に 取 り 組 ん で い く。

